

第3回機械工作技術研究会

○磯島 純一 a)

a) 九州工業大学管理本部技術部

1. はじめに

この技術研究会は、国公立や私立、大学や高専といった区別なく、実践的な技術や情報を習得することを目的としており、単なる発表に終わらず議論を深め使える技術の修得に重きをおいています。また、この技術研究会が交流の場となりネットワークを広げることで情報交換しやすくなり、日常の業務効率化やレベルアップを促します。(機械工作技術研究会連絡協議会ウェブサイトより引用)

2. 第3回機械工作技術研究会の概要

会場：広島大学 東広島キャンパス (一部オンライン中継)

会期：2024年9月12日(木)・13日(金)

主催：広島大学 技術センター

企画・運営：機械工作技術研究会実行委員会

参加費：500円 (オンライン参加は不要)

参加登録数：74名 (内オンライン参加18名)

スケジュール

9月12日(木) 会場：学士会館

12:00-13:00 受付

13:00-13:10 開会式 (挨拶、PR)

13:10-15:55 演習グループワーク (ダンドリ会議)

16:00-17:00 技術発表 (ポスター)

9月13日(金) 会場：ものづくりプラザ

9:00-9:30 施設見学

9:30-11:40 演習 (機械別分科会)

11:50-12:00 閉会式

13:00-17:00 機械別分科会 (希望者延長戦)



スケジュール	
9月12日(木) (会場：学士会館)	9月13日(金) (会場：ものづくりプラザ)
12:00-13:00 受付	9:00-9:30 施設見学
13:00-13:10 開会式	9:30-11:40 機械別分科会
13:15-14:25 ダンドリ会議	11:50-12:00 閉会式
14:35-17:00 技術発表	13:00-17:00 機械別分科会 (希望者延長戦)
18:30- 交流会	

技術発表はポスター形式 (A0サイズを推奨可能) で実施します。
発表テーマ例
新機、フライス盤
超精密加工 (EDM/WEDM)
超精密加工 (研削盤)
仕上げ (ボール磨など)
溶接、塑性加工
検査、CAE/CAM
デジタルエンジニアリング (3Dプリンター、レーザーカット)
実習、講習、安全教育、地域貢献、工場運営ほか。
※ポスター印刷をご希望の方はファイルをご提出いただければ実行委員でA0印刷を行います (費用は無料です)。

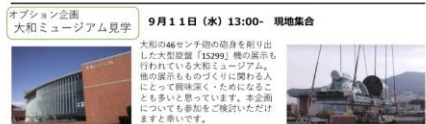


図1 開催要項 (表)

3. 参加者の傾向と今後の展開

対面での参加者数をみると、第1回44名、第2回51名、第3回56名と徐々に増加しています。そのこと自体はこの技術研究会の価値を認められているという良い傾向だと言えます。それに伴い発表数や演習のグループ数も増加しています。そうすると全ての発表を見聞きすることが難しくなってきます。どれも貴重な情報で聞き漏らすのは惜しいが、参加者数の制限や会場を分けるなどの対策が必要となるでしょう。

年代別で見ると30代40代の中堅が半数以上を占めています。大学と言う環境で学生対応や多品種単品の加工が多く、その中で培ってきた知識と経験を共有することで、現在困っている課題や今後出てくる事象に対応する能力を高めています。ただし、あまりに高度になり過ぎることで経験の少ない者の参加をためらわせることにつながらないように若手向けの分科会の開催など工夫をしていく必要があります。

4. おわりに

3回を終えて草創期の混乱も少なくなり、参加者増や内容の充実など発展期に差し掛かってきたと感じています。機械工作という性格上、対面での開催で実際にモノに触れたりできることは重要です。冒頭にあるように実践的な要素を維持しながら運営形態を柔軟に対応することが望まれます。